

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 結婚～出産～子育てサポートの完結を (45分)</p> <p>「少子化」という言葉が日本社会に出始めたのは、1990年代からで、子どもの減少は、30年が経とうとする今、克服どころかなお減り続けています。</p> <p>この間、我が国では1999年に新エンゼルプラン、2003年に少子化社会対策基本法、次世代育成支援対策推進法等が制定され、これらに基づき様々な施策が講じられてきました。本市でもこれらに沿った施策が講じられ、その中でも9年連続待機児童数「0」(国基準)の達成は大いに評価するところです。また、旧「鶴ヶ島版ネウボラ」事業、改称して「子育て世代包括支援センター」の設置や、その後の出産時の支援策である「多子世帯応援」事業も大いに評価するところです。</p> <p>しかし、国でも市でも様々な少子化克服のための対策が講じられましたが、子どもの数は今なお減り続けています。</p> <p>これらの対策は、現在生まれている子どもへの支援に力点を置き、社会全体で支援する安心感の醸成にはなりましたが、肝心な出生数の増加にはつながっていません。</p> <p>何より肝心要の出生数を増やす施策が必要であり、結婚支援こそが少子化克服の鍵になると思います。</p> <p>そこで、本市の現状と一歩前に出た結婚の支援策について伺います。</p> <p>(1) 令和3年度の婚姻数と出生数は。</p> <p>(2) 今までに取られた出生対策の現状と評価は。</p> <p>(3) 子育て施策の評価は。</p> <p>(4) 結婚支援策のお考えは。</p>	市 長